

# かたつむり



No.388 2013(7625)9.1(Sun.)

藤沢市科学少年団

## 10月の活動 化学実験 なす紙を作ろう

えっ、な・なす紙！何じゃそりゃ？というはてなマークがたくさんついているんじゃないかな？

みなさんは、酸性やアルカリ性を調べるとき、リトマス紙やBTB液しか思いつかなかな？たまにフェノールフタレインがいい！なんていう人もいるかも！でも、そんな理科室に行かなきゃ手に入らない小難しい薬品を使わなくても簡単に調べられます。今回スポットライトを当てたのが「なす」。一体どうやって「なす」で酸性・アルカリ性を調べるのでしょうか？楽しみにしててください。

1. 日時 10月27日(日) 9:00~14:00

2. 会場 藤沢市立湘南台小学校  
小田急線湘南台駅東口徒歩10分

3. 持ち物 弁当、水筒、帽子、名札  
上履き、バインダー  
筆記用具、はさみ  
汚れてもかまわない服装  
自宅や道ばたで咲いているに生えている赤～赤紫～青紫～青色の花を少し多めに  
(なくてもかまいませんが、あった方がいいでしょう)

4. 欠席連絡 前日までは事務局石井自宅まで、  
当日は、事務局石井携帯まで、  
8:30~50にお願いします。  
電話に出られない場合の方が多いためその場合は留守番電話に入れておてください。



# 8月活動 夏季活動 長野県美ヶ原方面

8月3日(土)～5日(日)の2泊3日で行ってきました。今年はスズメバチの襲撃などハプニングがありました。いかがだったでしょうか。詳しくは特集号に譲るとして、ここではほんのちょっとだけ振り返りたいと思います。



■保福寺川化石採取



■美ヶ原ハイキング



■雨の八島湿原

## 夏季活動で行かなかった博物館のワークシートの解答です

夏季活動のしおりに入っていたワークシートの解答です。ご家庭で行ったときなどに是非トライしてみてください。次に解答をのせておきます。

- 1) 6番目 2) フォッサマグナ 3) 安山岩 4) 7月 5) 破碎帯
- 6) ニホンカモシカ 11) 松本 糸魚川 12) ちくじ
- 13) 大福帳、タンスなど 14) あわびなど 15) 塩蔵
- 16) 射手が少年 21) 薪(木) ガス 22) 紙ブーメランなど
- 23) 鉄球列車など 24) アルミニウム 25) パラボラアンテナ
- 26) 16000Hz 27) エアタービン発電機など

# 藤沢でいちばん高い木(続)

運営委員 鈴木 照治

かたつむり7月号で、「藤沢の高木第一位は？」との素朴な質問に、自信を持って答えられない言い訳をいろいろ書きました。あれから1ヶ月経つのに、まだ納得のいく答えには到達できません。この間、いろいろ私なりに調べた結果を手紙にまとめ、藤沢でボランティアガイドの養成を担当しているSさんに、第三報として送ることにしました。

S様 すっかり遅れてしまいましたが、ようやく総合図書館へ行って、短時間でしたが、市の文化財総合報告書第4集(片瀬)、5集(鵜沼)、6集(江の島)の記載をすべて調べました。片瀬諏訪神社(4集)のクロマツ(幹回り184cmの方)には、高さ17mの記載がありました。江の島植物園(当時)(6集)のクロマツ(214)には高さの記載がありません。入り口よりの一番大きなスタジイ(高さ約6m)や東よりのケヤキ(約8m)から見て、高さ約15mと推定できます。正確なところはわかりませんが、やはり諏訪神社の方が高いと思います。ところが、S.C苑入り口手前の、イベントの行われる小広場のクロマツ(188)には、高さ19mの記載があり、こちらのほうが高いことがわかりました。さらに高い木をさがすと、辺津宮の斜面のタブノキ(149)に高さ20mの記載があり、これが江の島の最高木になることがわかりました。市内で、最も多くの巨木(11本)をもつ鵜沼皇大神宮(5集)を見ると、いちばん高いムクノキ(241)に20mの記載がありますが、市南部(4集、5集、6集)のすべてを通して、20mを超える高木の記載はありませんでした。まだ市の北半分(1、2、3集)を調べていないので、高さ20mを超える高木があるかどうかはわかりません。それに、成長の早いメタセコイアも調べる(実測する)必要も出てきました。御所見少年の森のメタセコイアは写真で見る限り高さ20mそこそこです。長後小のメタセコイアの2002年の写真が見つかり、高さがおよそ20mありますので、12年後の現在では、25mを超えていると思われます。最近撮影した、世田谷区大蔵団地のメタセコイアは5階建てより上に伸びていて、20mを越えていることは確かです。こんなわけで、ご質問いただいてから、1ヶ月を過ぎましたが、いまだに藤沢市で一番高い木はこのどれで、何mなのか特定することはできないままです。ここまで書いて気になったのは、多数の高木を擁する遊行寺です。有名な大イチョウ昭和57(1982)年8月の台風で折れる前は、樹高31mという確かな記録が残っています。ここには裏山を含めて8本の巨木があり、20m以上の高木があってもおかしくありません。数日後、総合図書館に行くことができ、第3集(藤沢)を調べました。そこで最も高い木は東側のイチョウで、20mでした。ここには20m級の高木が多数ありますが、それ以上の木はありません。さらに第3集を調べると、県体育センターのクロマツ(214)に高さ28m?(原文まま)の記載が見つかりました。しかし、この木は2002年の簡易冊子を出すに当たり再調査したときにはすでに失われていました。結局、今わかっているのは、市内で高さ20m級の高木は複数存在し、これに数本のメタセコイアを加えたものを実測しないと、満足のいく回答は、得られないということになります。以上、とりあえず、第三報です。



■クロマツ片瀬諏訪神社 h 17 m



■クロマツS.C苑 h 15 m



■タブノキ辺津宮 h 20 m



■ムクノキ鵜沼皇大神宮  
h 20 m



■メタセコイア少年の森 h 20 m ?



■メタセコイア長後小  
h 20 m (12年前)



■メタセコイア世田谷大蔵団地 h 20 m 以上



■イチョウ遊行寺 h 20 m

## ■お知らせ■

### □夏季活動の感想文はもう出しましたか？□

夏季活動の感想文ならびに地形模型の写真の最終締め切りを9月16日(月敬老の日)消印有効にします。それ以降編集作業に入りますので、未提出の団員は必ず提出するようよろしくお願いいたします。提出先 事務局 石井幹夫

### □夏季活動の返金について

夏季活動の会計に関しては現在集計中ですが、2日目まで晴天プロで実施できたこともあり、いくらか返金できる見込みでいます。9月中に改めてお知らせしますので、今しばらくお待ちください。